

転倒件数の減少効果は明白に

「業務負担の軽減」可視化は今後の課題

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス
介護老人保健施設アゼリア（神奈川県海老名市）

導入後1年で 転倒件数が3割減

介護老人保健施設アゼリアでは、2016年9月より神奈川県と「介護ロボット普及センター事業に関する協定」を締結。その一環で「シルエット見守りセンサー」（キング通信工業株式会社）を導入している。

センサーは、赤外線を利用してシルエットの映像を取り込み、その映像はフロアごとに配備されているタブレットPCに赤外線シルエットで映し出される。職員は、ステーションを離れる時はタブレットPCを持っていき、アラームが

鳴った時はその場でタブレットを見て確認し、必要であればすぐに駆けつけるという利用法になる。

導入台数は現在5台。導入前後を比較すると転倒件数がおよそ3割減ったという。対象となった利用者の転倒件数は稼働後1年3カ月で1件。これは機器の誤作動ではなく、設定ミスによるものだった。「入居者様の状態は導入前後で変わっていません。そのなかでの3割減は驚異的です」と、相川浩一・本部介護福祉事業部課長は語る。

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス介護老人保健施設アゼリアでは、「シルエット見守りセンサー」（キング通信工業株式会社）を導入し、転倒件数3割減とするなど着実に成果を挙げている。その一方で、対象となる利用者を厳格に設定するなど、より効果的な活用法になるよう留意している。

ている。従来のセンサーは「アラームが鳴ったらまず部屋に行く」という仕組みであるため、その間、他の利用者から職員の目が離れることになる。同センサーの導入で、行かずにまず確認できるようになり、他の利用者の見守りも可能になったからだ。

従前のセンサーで夜間、頻回にアラームが鳴った利用者の部屋に同センサーを設置したところ、平均

現場からの伝言

適切な設備導入で最適の 効果をもたらす



本部介護福祉事業部の相川浩一課長



8回、部屋に行っていたものが0・5回に減った。モニターで利用者のシルエットを視認でき、不穏な動きがあっても起きる心配がなく、行く必要はないと判断できるようになったためだ。

用途を明確にして「余分な投資」を回避する

設置対象は基本的に「動ける人」になるので、要介護1〜2が中心。まず対象に挙がるのは「動作が早い人」。他のセンサーが鳴っても間に合わなかった人は、その後のカンファレンスで検討して導入する。次に「頻回にセンサーが鳴る人」。他のセンサーで頻回に鳴るものの、実際に行ってみると危険動作が少なかったという人に導入する。

要介護4になるとほぼ取り付ける必要はない。たとえば認知症状が著しく、夜中も動き回る利用者の場合はベッドではなく畳を敷いてその上に布団を敷くという対応策をとる。「入居している人の状況を検討して、何を目的に導入す

るかを明確化させないと無駄な設備投資になってしまいます」と相川課長は強調する。

そもそも老健という施設の特性からも、「常時モニタリングが必要」という利用者はあまり多くない。同センサは赤外線で動きを探知する仕組みのため、脈拍や体温、心拍数などをリアルタイムで知らせることもできるが、現場からは「そこまでの機能はなくても大丈夫」との声があがった。

導入による効果については

スタッフの反応は「負担が減った」との声が目立つが、機器の扱いに慣れていない一部のスタッフからは「負担が増えた」との声も出ている。導入すること自体は歓迎しても、使いこなすまでは苦労があるようだ。そもそも機器の導入は、それまでの「ルーチン業務」を変えることにつながる。「センサがなくても見守りをやってきただ。なぜ導入する必要があるのか」という思いはあるでしょう。その

あたりは丁寧に説明する必要があると思います」（相川課長）

そもそも、効果を出せる機器であることは認識できるものの、業務量の軽減に直結するとは限らず、利用者のもとに行く回数が増えたとしても、記録業務をはじめ仕事がなくなるわけではない。あくまで「人を減らす」というよりは「見守りの強化」が主眼なのだ。

「仮にセンサが壊れたりして撤去されてしまったら、『負担は増えた』という回答が大半を占めるはず。導入効果の可視化についてはもっと検討していく必要があると思っています」と相川課長は「次の段階」を見据えている。

DATA

社会医療法人ジャパンメディカル アライアンス 介護老人保健施設アゼリア

住所：神奈川県海老名市河原口1357-1

TEL：046-231-1311

URL：http://azalea.jinai.jp/

定員：105人(入所)

職員数：91人(看護師<常勤換算>11.8人、
介護福祉士<同>38.34人、介護職<同>
4.92人)